

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|--------------|
| ○事業所名 | コベルプラス福山蔵王教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 8月 1日 | | 2025年 8月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 27 | (回答者数) 19 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 8月 1日 | | 2025年 8月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 9月 12日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 発達に則して作成された様々な教材で、「見る」「聞く」「やりとり」などの多くの課題に満遍なく取り組むことができることです。 | 同じレッスン内容でも、子どもそれぞれの支援目標に応じて言葉かけを工夫しています。また、カンファレンスで子どもの様子を指導員間で共有することで、次回のレッスンに向けてよりよいかかわりを検討しています。さらに、月1回のコミュニティでは、季節を感じられる製作や楽しく体を動かす集団活動に参加することができます。 | 子どもによっては、モチベーションや苦手意識などによって取り組みづらいものもあります。そのため、その子の性格や発達特性に応じたかかわりによって、より楽しく取り組めるレッスンのやり方を指導員間で考えていく必要があると思います。 |
| 2 | 文字や数字の取り組みがあることです。 | 個別レベルに合わせてもじかきプリントや数プリントに取り組んでいます。まだ慣れていない子ども、もじかきうたや数字のうたで楽しみながら取り組んでいくことができます。 | 前回のもじかきプリントと数プリントにどのように取り組めたか、どのくらい難しそうにしていたかなど、細かい様子の共有ができていないことがあるため、指導員間での共有をさらにしていきたいと思っています。 |
| 3 | 手厚い保護者への支援です。 | レッスン中に最近の様子を聞いたり、保護者の方の気になっていることを聞いたりなど、保護者の方が心配を抱え込まないよう配慮しています。必要に応じて関係機関との連携も積極的におこなっています。 | レッスンを見学しない保護者の方もいるため、最近の様子をごまめに聞くことが難しいこともあります。送り迎えの時の保護者に心配そうな様子はなかったかなど、情報共有も指導員間でしていきたいと思っています。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 利用者が就学するタイミングで退所することになることです。 | 児童発達支援の対象が未就学児となっているためです。 | 小集団のレッスンを活かし、そこで培うことが出来るソーシャルスキルに重きを置き、一定の相手とレッスンを行うだけでなくクラスの定期的な変更により、より多くの学びを得ることが出来るように工夫していく等、やり方を検討していきたいです。 |
| 2 | 職員の異動が定期的にあるため、利用者が入社したばかりの先生に戸惑うことがあります。 | 共通注意事項等の共有漏れから、利用者に迷惑をかけてしまう恐れも発生してしまいます。 | 共有しておくべき注意点は誰でもすぐに確認出来るようにまとめ、周知徹底をしていきます。 また、初めてレッスンへ入る際は事前に顔見知りの関係(来所時の挨拶や世間話等)を築き、子どもたちが抵抗感なくスムーズにレッスンを始めることが出来るよう行動していきます。 |
| 3 | 送迎が無いことです。 | 事業所の形態上、保護者様の送迎となりますが、ご理解のうえ通所していただいております。 | 送迎有りの事業所には無い当事業所の魅力をお伝えしていきます。保護者に送迎していただくことでレッスンを見学していただき、お子さんの成長の姿をその場で共有していきます。 |